

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこ
こるっくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

令和元年8月19日（月）午後2時00分～午後3時30分まで

場所

碧南市役所 1階 選挙管理委員会室

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 松井高善、伴野義雄、渡邊頭一郎、河原厚司、中根潮美、生田和重、
城頭亜紀子
- (2) 欠席者 なし
- (3) 事務局職員 福祉こども部長 遠山隆夫、こども課長 中川英治、
課長補佐 石井香代、主事 鈴木曜
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 山田正教、
課長補佐 杉浦淳子、係長 池田昇司、主査 井上明日香

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

委員長の任命 市長より松井副市長が委員長に任命

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者氏名、発言
内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 松井委員長

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 平成30年度事業報告及び決算について

イ 令和元年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】昨年より、支援員数が3名減少しているが、足りているのか。

【指定管理者】職員を募集してもなかなか集まらなかったが、児童に対する
指導員数は確保できていた。常に募集は募っている。

【A 委員】通所の状況において、増加が少なく、減少が多いが原因として何が考えられるか。

【指定管理者】夏休みの通所希望者が多く、夏休み終了と同時に退所する利用者が多いため。

【A 委員】通所児童減少数が多いクラブがあるが、クラブ内において問題があるのか。

【指定管理者】特に問題なし。

【A 委員】人件費支出が当初予算に比べ少ないが、どういった理由があるか。

【指定管理者】見込み支援員数が確保できなかったため。児童に対する指導数は確保できていた。

【A 委員】非常勤職員において、資格は不要か。また、何名が資格を有しているか。

【指定管理者】放課後児童支援員資格は必要だが、その他の資格は不要。約40名の支援員がその他資格を有する。

【A 委員】どのような人が支援員をしているか。

【指定管理者】男性よりも女性が多い。また、近年では定年退職した男性が増加している。

【A 委員】児童クラブ利用料の未収金はあるか。また、対応策はあるか。

【指定管理者】4万円の未収有（児童2人分）。保護者が児童を迎えにきた際に直接話をし、徴収に努めている。

【A 委員】事故報告において、小学1年生が鉄棒で前回りをしようとした際に転落した事故があったが、その際の状況はどのようなだったか。

【指定管理者】本人が登れない高さの鉄棒に本人の希望で小学4年生の児童に手助けをしてもらい上ったが、手を滑らせ落下した。外遊びの際に支援員は必ず外にいるが、目を離したうちの事故であり、防ぐことはできなかった。制限をかけすぎず、児童が安全かつ自由に遊ぶことができる環境づくりに努める。

【A 委員】事故があった際の保険適用はどうなっているか。

【指定管理者】見舞金という形で1回の通院につき1,500円を支払っている。

【B 委員】近年、健全育成支援事業において質の向上が求められているが、支援単位ごとの定員はどうなっているか。

【指定管理者】すべての支援単位において、最大40～50名程度の定員を定めている。

(2) 児童センター

ア 平成30年度事業報告及び決算について

イ 令和元年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【B 委員】児童館は、学校や家庭でない第3の居場所として重要だが、要保護家庭への対応はどうなっているか。

【指定管理者】要保護家庭を把握し、積極的な声かけを行っている。また、児童センター指導員と家庭児童相談員は連携しており、情報共有をしている。

【B 委員】利用状況において、児童センター事業利用者数と地域子育て支援拠点事業利用者数を区別し、報告は可能か。

【指定管理者】人数把握方法を精査し、対応する。

【A 委員】地域子育て支援センター事業は、児童センター事業とは別に委託をしているのか。

【指定管理者】別で委託している。児童センター事業の指定管理条件の中に、地域子育て支援センター事業の運営も含んでいる。

【A 委員】現在は社会福祉協議会が児童センターを指定管理しているが、他の団体が児童センターを指定管理するようになった場合、地域子育て支援拠点事業はどの団体が運営するのか。

【指定管理者】児童センターを指定管理している団体が地域子育て支援拠点事業を運営する。

【C 委員】運営方針として地域の外国人と交流し、英語が身近にある環境を作るとあるが、実際にどのような活動をしているのか。

【指定管理者】外国語教室の先生を招き、教室を開催している。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 平成30年度事業報告及び決算について

イ 令和元年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A 委員】他市からの利用者数が多いが、具体的にどの市町村からの利用者が多いのか。

【指定管理者】主に高浜市、安城市、西尾市。

【B 委員】地域子育て支援センター事業に該当するのか。

【指定管理者】地域子育て支援センター事業でなく、自主事業。

【B 委員】0歳児親子の交流の場「ベビママのつどい」は、0歳児親子のみが来館できるようなイベントか。

【指定管理者】月1回、0歳児親子のみが来館できるイベント。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 平成30年度事業報告及び決算について

イ 令和元年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A 委員】平成31年度収支予算において、ファミサポソフトウェアライセンス料とあるが、どのようなものか。

【指定管理者】ファミリーサポートセンター事業を管理する専門のソフトウェア。ファミリーサポートセンター利用者が増加し、従来の管理アクセスでは対応が困難になったため、本年度より導入する。

【A 委員】ファミサポソフトウェアにおいて、そのソフトウェアを選んだ理由はあるのか。

【指定管理者】他施設が多く利用しており、信頼度が高いと考えられるため。

【A 委員】ファミサポソフトウェアライセンス料は、毎年支払うのか。

【指定管理者】毎年支払うものではない。しかし、ソフトウェアにメンテナンスが必要になった際は保守料を支払う。

【B 委員】事業として何を行っているのか。事業ごとに利用者数を把握することは可能か。

【指定管理者】子育て支援拠点事業、おもちゃ図書館事業、ファミリーサポートセンター事業を行っている。利用者数においては、人数把握方法を精査し、対応する。

【B 委員】ファミリーサポートセンター事業は国の事業なのか。

【指定管理者】国の事業でなく、自主事業。年間利用者が2,000件を超え、

市では管理が困難になったため、指定管理となった。

(5) 令和2年度から令和6年度におけるこどもプラザこころっくしんかわの 指定管理について

【事務局】4施設について、平成27年度から今年度までで指定管理の5年が終了します。令和2年度から6年度の指定管理について任意指定ということで事務を進めてよろしいか、協議をお願いします。その後、審議。

<主な意見・質疑>

なし。